5月13日（日）、チロル学園のある山梨県南アルプス市では「南アルプス芦安新緑やまぶき祭」が催されました。これに武蔵野東中学校ダンス部の2年生が参加して、「カノン」等2作品を披露して南アルプス市長をはじめ地元の方々との交流を深めてきました。学園からは寺田理事長と清水常務理事、石橋校長が出席しました。

※学園創立50周年記念事業のひとつとして整備された「南アルプスチロル学園・山梨友愛寮」は、南アルプス市と本学園間の契約が整い、2015年より、本格的な活用が始まりました。以前より行っていた高等専修学校の生徒の研修だけでなく児童・生徒の宿泊学習や部活動、職員研修の場などとしても活用されています。

新緑が輝き澄んだ空気の中、時折小雨がぱらつくこともありましたが、ダンス部の演技の時にはあがって、明るく凛々しい彼女たちのダンスに会場からは大きな拍手が送られました。

（同行した鈴木事務長からのリポート）

マイクロバス運転の幼稚園田中先生撮影の
チロル学園近くで出会ったカモシカ